

島中勝雄氏文書概要

- 1: 文書群番号 080004
- 2: 文書群名 島中勝雄氏文書
- 3: 出所 島中勝雄家
- 4: 家業・役職等 今北村庄屋
- 5: 地名 摂津国武庫郡今北村／兵庫県武庫郡今北村／武庫郡大庄村今北／尼崎市今北／尼崎市大庄北ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
- 7: 歴史
今北村は、市域西部、武庫川沿いに位置する。村名の史料上の初見は、慶長10年(1605)。享和～文化年間(1801～1818)には、枝村の芋村と分村出入りがあった。村高は元禄15年(1702)に567石余、その後、武庫川沿いの地に新田が開発され、天保5年(1834)の郷帳では721石余に増加している。天明8年(1788)の家数は57軒、人数279人、別に44軒、225人とある。水利は大島井組に属した。氏神は大島神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土宗東光寺、浄土真宗本願寺派光宣寺。
大島神社は中世大島荘鎮守で、東大島村・西大島村の氏神でもある。
- 8: 伝来
市史編集室時代に調査済であった本文書群を、昭和55年に島中勝雄氏が史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 島中勝雄氏
- 10: 点数 55点(目録件数25件)
- 11: 年代 安永9年(1780)～大正6年(1917)
- 12: 構造と内容
本文書群には多くの村政関係史料が含まれており、近世のものとしては寛文5年(1665)今北村の検地帳写し・免状等が、近代のものとしては、大庄村の歳入歳出予算書・同決算書、事務報告及び財産明細表等がある。
また、借用証文・田畑譲り渡し証文等金融関係史料がまとまっている。ほかに神社への奉納や東北への義捐金等寄付関係史料がある。
- 13: 関連史料 今北部落有文書
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央